

# 千葉県立中央博物館令和5年度 地域研究課題一覧

地域研究課題 1～3（地球誌系 1：房総の大地から探る地球の歴史、2：房総半島南部の大地の動きをさぐる、3：房総丘陵の地誌・地形・地質と生物と人のくらしの関連性）

系	整理番号	研究タイトル	代表者名	分担者名	参加職員数	研究内容（300字以内）
地球誌系1	1	房総半島の無脊椎動物化石相	加藤久佳		1	房総半島の第四系から産出する無脊椎動物、とくに十脚甲殻類化石資料を重点的に収集し、国内各地の既知のデータと比較検討する。
地球誌系1	2	房総半島の軟体動物化石相	伊左治鑽司		1	房総半島から産出する軟体動物化石について、地域や地層ごとに、化石群集を構成する代表的な分類群を調査し、そのコレクションを充実させる。
地球誌系1	3	房総半島の脊椎動物化石相	丸山啓志		1	房総半島に分布する地層から、ナウマンゾウなどの陸棲哺乳類や、アワイルカなどの海棲哺乳類のような多種多様な脊椎動物化石が産出する。この化石記録から地質時代の房総半島における脊椎動物相の変遷を明らかにする。
地球誌系1	4	房総周辺の花粉・環境誌	奥田昌明	館外研究者	4	2020年1月のチバニアン採択にともない、現地では更なる研究成果が期待されている。本研究課題では、市原市田淵の千葉セクションに対して花粉化石にかかる再分析を行い、申請段階では詰め切れなかった詳細なMIS 19の古気候復元を行った後、MIS 1の古気候状態と比較する（令和5年度より採択された科研費を使用）。
地球誌系1	5	房総半島の最終氷期以降の植生変遷	西内李佳		1	最終氷期（主に2～3万年前）から現在にかけての房総半島の植生変遷を、特に照葉樹林の拡大と針葉樹の衰退に着目して、花粉や葉、種実の化石から明らかにする。
地球誌系1	6	房総の化石密集層の成因	千葉友樹		1	房総半島の地層に見られる化石密集層の成因を堆積物や化石群集に基づき明らかにする。また、当時の環境と生物の関わりを化石密集層から読み解く。
地球誌系2	7	房総半島嶺岡帯の地質構造の解明	高橋直樹		1	嶺岡帯は無数の断層が発達したきわめて複雑な地質構造を持っている。詳細な現地調査を実施するとともに、構成岩石の岩石学的特徴の検討を加えて、これらの地質構造を明らかにする。
地球誌系2	8	房総半島南部の晩新統～中新統の層序と構造の解明	菊川照英		1	房総半島南部に分布する晩新統から中新世の地層の層序や地質構造について、詳細な野外調査と微化石を用いた地質年代に基づき明らかにする。
地球誌系3	9	房総半島における水利用に関する研究	小田島高之		1	川回しや上総掘り、二五穴等の房総半島に特徴的な水利用について、それら分布や変遷を調査する。
地球誌系3	10	房総丘陵を水源とする河川流域の地形誌	八木令子	共同研究員	2	房総半島南部の隆起や岩質を反映した河川の地形発達、川廻しなどの人工改変地形を調査し、房総丘陵を水源とする河川流域の地域特性を明らかにする。
地球誌系3	11	千葉県に生息するタゴガエルの産卵場所に関する環境地質学的研究	大木淳一		1	タゴガエルの産卵場所および越冬場所である湧水箇所を環境地質学的に解明する。
地球誌系3	12	千葉県で観測される屋敷木の発生メカニズムに関する基礎研究	大木淳一		1	千葉県で観測される屋敷木の発生状況を調査し、発生メカニズムを地形学及び気象学的側面から明らかにする。

## 地域研究課題4（生命誌系 1：房総の分類学的多様性の特徴とその保全）

生命誌系1	1	房総の哺乳類誌	下稲葉さやか	共同研究員	1	千葉県内に生息する哺乳類に関して、標本の収集と文献調査を行い、分布や生息状況を明らかにする。
生命誌系1	2	千葉県の鳥類相に関する研究	桑原和之		1	千葉県を中心とした文献を基礎資料として、千葉県全体の鳥類相を把握する。期間は3年間を予定している。千葉県全体の鳥類相を知る目的から、はじめに海岸部の鳥類相の状況などを現地調査により可能な限り把握し、過去の文献と比較する。
生命誌系1	3	房総の魚類誌	宮正樹	後藤亮 共同研究員	2	千葉県沿岸に生息する魚類を網羅的に収集し、種組成や生態などを明らかにするとともに、DNA判定のための組織片を採取する。また、2017年度8月から続けてきた房総半島南部11測点における環境DNA隔週調査を、月別調査に変更して引き続き魚類群集モニタリングを継続する。本年度はその第96～106回目の調査を行う。
生命誌系1	4	房総丘陵の両生爬虫類相	大木淳一	栗田隆気、尾崎輝雄	3	千葉県の中でも最も多くの両生爬虫類が生息する房総丘陵の両生爬虫類相を解明し、1kmメッシュ単位の分布図を作成する。また、生態写真も撮影し、博物館活動に役立てる。
生命誌系1	5	房総の甲殻類誌	駒井智幸	村田明久、高山順子	3	房総半島とその周辺海域に出現する甲殻類相の解明を行い、未記載種、国内未記録種（外来種を含む）の公表を随時進める。ツノモエビ属やカイメンヤドリアナエビ属で未記載種が発見されているので年度内の発表を目指す。
生命誌系1	6	房総の貝類誌	黒住耐二	照屋清之介	2	房総半島にどのような貝類が第四紀以降生息しており、それが人間活動を含めた環境変化に対して、どのように変遷し、また人間にどのように利用されてきたか等について調査する。
生命誌系1	7	房総丘陵の昆虫・クモ類相	尾崎輝雄		1	希少種の探索を行い、房総丘陵に特有の昆虫およびクモ類を記録する。
生命誌系1	8	房総の土壌動物誌	萩野康則		1	房総に生息する多種多様な土壌動物について文献調査と採集を行い、詳細な文献リストと生息種リストを作成し、生息種の標本を収集する。
生命誌系1	9	千葉県の甲虫相に関する研究	斉藤明子	樽宗一郎	2	本研究は、房総地域に生息する昆虫の戸籍簿の作成を目的とするもので、特に、全昆虫の約三分の一の種数を占める甲虫類について千葉県の記録を網羅し、さらに調査を実施して未記録種が発見に努める。
生命誌系1	10	房総の維管束植物誌	天野誠	斎木健一、大津千晶、御座由紀、山本伸子、西内李佳、浅野紗彩	7	千葉県印西市周辺の維管束植物相を調査し、あわせて標本を収集する。この地域は植物相が豊かであり、過去の記録と照合することで植物相の変遷を知ることができる。
生命誌系1	11	房総丘陵の維管束植物相	尾崎輝雄		1	希少種の探索を行い、千葉県の中でも特有の植物種を多く擁する房総丘陵の維管束植物相を解明する。
生命誌系1	12	房総の大型菌類相	吹春俊光		1	千葉県内に生育する大型菌類（きのこ類）について、継続して調査をすすめ、千葉県の菌類誌（戸籍簿）を更新しつづける。
生命誌系1	13	房総の地衣類誌	坂田歩美	原田浩 共同研究員 市民研究員	2	千葉県内に産する地衣類の目録を完成するために、野外調査を行うとともに既に収集した標本資料の同定、分類学的検討を行う。また県内における地衣類の分布を明らかにするために、県内各地で調査を行う。市民研究員・共同研究員と協力して実施する。

地域研究課題 5 (生命誌系 2 : 房総の生態学的多様性の特徴とその保全)

生命誌系2	1	生態園の生態系変遷に関する研究	西内李佳	島立理子、斉藤明子、齋木健一、天野誠、後藤亮、栗田隆気、坂田歩美、千葉友樹、高山順子、桑原和之、高橋直樹、尾崎煙雄、林紀男、平田和彦、吹春俊光、山本伸子、樽宗一郎	20	生態園の植物、動物、菌類、水生生物などの生物相を調査し、水質データ、気象データなどととも長期的に記録を蓄積して、生態園における生態系管理や教育普及に役立てていく。さらに、これらを開園以来の既存のデータや在来の里山における資料とも比較して、都市近郊域における生態系の再生過程を明らかにする。なお、野鳥調査についてはボランティアの協力を得て実施する。
生命誌系2	2	房総のヒメコマツの保全生態学的研究	尾崎煙雄	西内李佳	2	近年急速に減少している房総丘陵のヒメコマツ個体群について、モニタリング調査を行い、その保全に向けた研究を行う。
生命誌系2	3	千葉県におけるナラ枯れ病に関する研究	尾崎煙雄	斉藤明子	2	ブナ科樹木萎凋病(通称:ナラ枯れ)はナラ菌 <i>Raffaelea quercivora</i> が感染することによりブナ科樹木が枯死する樹病で、1980年代以降本州日本海側を中心に広葉樹林に大きな被害をもたらしている。我々の調査により2017年8月に千葉県内で初めてナラ枯れを発見した。この菌を媒介する甲虫の1種カシノガキクイムシの生態を調べ、県内におけるナラ枯れの動向を予測する。
生命誌系2	4	侵略的外来水生植物の分布・生理・生態に関する研究	林 紀男		1	侵略的外来水生植物の繁茂状況の変遷追跡、および陸水環境における異常繁茂が水生生物に及ぼす生理・生態的な影響などについて検討する。

地域研究課題 6 (人類誌系 : 房総という環境の成り立ち及び人々の生活誌に関する研究)

人類誌系	1	利根川下流域に生きた人々に関する社会史的研究	米谷 博		1	利根川下流域に生きた人々の暮らしや地域社会とのかかわりについて、歴史・民俗資料などを中心に考察する。
人類誌系	2	房総丘陵における人の生活と自然のかかわりに関する研究	島立理子		1	房総丘陵に生活する人々が、地域の自然とどのようにかかわりながら生活してきたを調査する。
人類誌系	3	房総における生業の複合的なありかたと環境について	小林裕美		1	近現代における農業・諸職・行商など、生業の重層的な在り方と環境とのかかわりについて調査・考察を行う。
人類誌系	4	都市近郊低湿地や利根川流域における生業の研究	秋山笑子		1	千葉県内の低湿地や利根川流域を中心に、生業と生活戦略を検討し、近現代における低湿地における生活と環境の変化との関連について調査研究を行う。
人類誌系	5	千葉県内の神社由緒と祭礼に関する研究	鈴木建人		1	千葉県内の神社の縁起や神像・奉納物などの資料、分布や立地環境、そして祭礼のあり方から、房総三国の歴史的・文化的位置と時代変化について考察する。
人類誌系	6	房総の万祝製作に関する研究	玉井里奈		1	千葉県内で現在も継承されている万祝製作技術や作業の担い手、製品について調査し、現代における万祝の位置づけについて考察する。
人類誌系	7	房総における暮らしと民俗信仰の変遷	渡瀬綾乃		1	近現代の房総における暮らしの変化と、それによって民俗信仰がどのように変遷したのかを調査する。
人類誌系	8	利根川流域における民間信仰の成立と伝播に関する研究	榎美香		1	利根川流域で現在まで継承されている行事や信仰について、その成立と変遷の過程を考察する。
人類誌系	9	19世紀における上総国大多喜松平家中役替帳の研究	高橋 覚		1	大多喜町に伝来する希少な文献資料から家臣団構成を再構築する。
人類誌系	10	房総の古墳出土副葬品に関する研究	石井友菜		1	千葉県内の古墳から出土する副葬品を主な対象とし、古墳時代の手工業生産やものづくりの技術について検討する。
人類誌系	11	近世の房総における寺社地と門前町の研究	須田華那		1	近世の房総における寺社地および門前町のあり方を、周辺の社会との関係に着目して考察する。
人類誌系	12	千葉県地域美術史に関する調査研究	幅 大		1	戦後の千葉県美術会設立以前の県内の地域美術について、団体等の活動記録等を中心に調査研究を行う。

地域研究課題 7 博物館誌系 : 博物館とその社会的役割に関する研究

博物館誌系	1	中央博物館の収蔵資料の保存管理に関する研究	村田明久	友田暁子・萩野康則・斉藤明子・樽宗一郎・御巫由紀	6	博物館の貴重な資料を劣化させない収蔵環境を維持するためには、総合的有害生物管理(IPM)を行う必要がある。温湿度などの管理、燻蒸釜による燻蒸、トラップによる生物生息調査などを継続的にを行い、異常を素早く見つけて対処し、さらに中央博物館に適切な総合的有害生物管理を行うための調査研究を行う。
-------	---	-----------------------	------	--------------------------	---	--